

# 平成11年度 和歌山県文化賞

たけ なか へい ぞう  
竹 中 平 藏

住 所：神奈川県藤沢市  
出 身 地：和歌山県和歌山市  
生 年：昭和26年

## ◎業績及び経歴

昭和26年に和歌山市に生まれた氏は、県立桐蔭高等学校卒業後、昭和44年一橋大学経済学部に入學。同大学を卒業後、日本開発銀行(現 日本政策投資銀行)に入行、総合政策金融の観点から国民経済の発展に尽力し、昭和52年には同銀行施設投資研究所に移る。昭和56年に、ハーバード大学・ペンシルバニア大学客員研究員として渡米、グローバルな視点から我が国の経済を見つめた。

昭和57年に帰国し、大蔵省財政金融研究所の主任研究官に就任、日本経済の発展に尽くした後、昭和62年には、大阪大学経済学部助教授に就任、経済学の研究に惜しみない情熱を注ぐとともに後進の指導にも努めた。

昭和59年の著書「研究開発と設備投資の経済学」は、広く社会と文化を考える独創的で優れた研究、評論活動に対し贈呈されるサントリー学芸賞を受賞。また、昭和62年には著書「対外不均衡のマクロ分析」を発行。日本経済及び日本経済と世界経済についての分析を促すことに清新な業績をうち立てた学術研究に対し贈られる毎日新聞社エコノミスト誌のエコノミスト賞を受賞する。

平成元年には、ハーバード大学客員准教授として再渡米、国際経済研究所(IIE)の客員フェローに就任するなど、国際的な立場からの経済学の振興に情熱を注いだ。

帰国した氏は、平成2年に慶應義塾大学総合政策学部助教授に、平成8年からは同大学の教授に就任し、海外で培った経済学の知識を遺憾なく発揮する。

専門分野である総合政策学の研究により、我が国を代表する経済学者としてその地位を築くとともに、広く一般に経済の仕組みとその魅力を紹介する著書の出版、マスコミ等で経済問題を分かりやすく解説するなど、身近な経済学の確立にも精力的に取り組んでいる。

こうした実績が評価され、平成10年には内閣総理大臣の諮問機関である経済戦略会議にメンバーとして参画、平成11年2月に「日本経済再生への戦略」を取りまとめ、内閣総理大臣に答申を行った。

また、平成11年4月には、客観的な政策分析、政策研究の発展とその普及を目指し、政策分析ネットワークを設立、その代表を務めるなど、その活躍は幅広く、本県の誇りとなる経済学者である。

## ■現在

慶應義塾大学総合政策学部教授・経済学博士  
政策分析ネットワーク代表  
東京財団理事長  
フジタ未来経営研究所理事長

## ■主な表彰歴等

昭和59年 サントリー学芸賞  
昭和62年 毎日新聞社エコノミスト賞